

中国省市責任者訪日代表団  
日本滞在記録

昭和 53 年 10 月 21 日～11 月 6 日

全 国 知 事 会

写真あり

成 田 空 港 出 迎 え (10 月 21 日)

写真あり

奥田全国知事会会長主催晩さん会 (10 月 23 日)

写真あり

園遊会（十月二四日）

写真あり

加藤自治大臣との会見（十月二三日）

写真あり

河本通産大臣との会見（十月二三日）

写真あり

保利衆議院議長との会見（十一月一日）

写真あり

安井参議院議長との会見（十一月一日）

写真あり

園田外務大臣との会見（十一月一日）

写真あり

安倍官房長官との会見（十一月一日）

写真あり

福岡県農業試験場視察（十月二六日）

写真あり

東洋工業株式会社視察（十月二七日）

## 目 次

	ページ
1 中国省市責任者訪日代表団名簿 ……	1
2 中華人民共和国行政区画 ……	3
3 中国省市責任者訪日代表団滞在日程（実績） ……	5
4 全国知事会会長主催歓迎晩さん会概要	
(1) 日時、場所、出席者 ……	27
(2) 奥田良三会長あいさつ ……	29
(3) 万里団長あいさつ ……	31
(4) 加藤武徳自治大臣あいさつ ……	34
5 政府要人との会見要旨	
(1) 加藤武徳自治大臣との会見 ……	35
(2) 保利茂衆議院議長との会見 ……	37
(3) 安井謙参議院議長との会見 ……	38
(4) 園田直外務大臣との会見 ……	41
(5) 安倍晋太郎内閣官房長官との会見 ……	42

### 〔付 録〕

- (1) 招 請 状（全国知事会会長から在日中国大使館あて）
- (2) 在日中国大使館から全国知事会あて文書
- (3) 礼 状（万里団長から松島事務総長あて）

## 1 中国省市責任者訪日代表团名簿

団 長	安徽省革命委员会主任 方 里 (Wan Li)
団 員	黒龍江省革命委員会副主任 陳 雷 (Chên Lei)
団 員	河北省革命委員会副主任 郭 志 (Kuo Chih)
団 員	湖南省革命委員会副主任 羅 秋 月 (女) (Lo Chiu-yüeh)
団 員	北京市革命委員会副主任 白 介 夫 (Pai Chieh-fu)
団 員	甘肅省革命委員会副主任 葛 士 英 (Ko Shih-ying)
団 員	四川省革命委員会副主任 何 郝 炬 (Ho Ho-chu)
団員兼秘書長	安徽省科学技術委員会副主任 白 楊 (Pai Yang)
団員兼副秘書長	中日友好協会理事 李 福 徳 (Li Fu-tê)
団員兼通訳	中国人民政治協商会議全国委員会委員 黄 世 明 (Huang Shih-ming)
秘書兼通訳	中国友好協会職員 呉 瑞 鈞 (女) (Wu Jui-ehun)
「人民中国」誌特派員	田 家 農





写真あり



### 3 中国省市責任者訪日代表団滞在日程概要

日数	月 日 (曜)	滞在都府県	摘 要	宿 泊
1	10月21日(土)	東 京	14:15 新東京国際空港 (成田) 着 (CA)	ホテルニューオータニ (東京)
2	10月22日(日)	東 京	都 内 視 察	ホテルニューオータニ (東京)
3	10月23日(月)	東 京	要人会見、都内視察	ホテルニューオータニ (東京)
4	10月24日(火)	東京・茨城	茨城県訪問 (バス)	水戸京成ホテル
5	10月25日(水)	茨城・東京	茨城県訪問 (バス)	ホテルニューオータニ (東京)
6	10月26日(木)	東京・福岡	8:30 羽田発 (JAL)、 10:10 福岡着 福岡県訪問	ホテルニューオータニ (博多)
7	10月27日(金)	福岡・広島	9:24 博多発 (新幹線)、11:10 広島着 広島県訪問	広島グランドホテル
8	10月28日(土)	広島・奈良	14:12 広島発 (新幹線)、 16:08 新大阪着。バスにて奈良へ	奈良ホテル
9	10月29日(日)	奈 良	終日奈良県滞在	奈良ホテル
10	10月30日(月)	奈良・京都 ・愛知	午前、バスにて奈良県から京都府へ 16:05 京都発 (新幹線)、16:53 名古屋着	名古屋都ホテル
11	10月31日(火)	愛 知	終日愛知県滞在	名古屋都ホテル
12	11月1日(水)	愛知・東京	9:43 名古屋発 (新幹線)、11:44 東京着 午後、要人会見	ホテルニューオータニ (東京)
13	11月2日(木)	東京・神奈川	朝ホテル発 (バス)、神奈川県訪問	ホテル小涌園 (箱根)
14	11月3日(金)	神奈川・東京	バスにて東京へ	ホテルニューオータニ (東京)
15	11月4日(土)	東 京	都 内 視 察	ホテルニューオータニ (東京)
16	11月5日(日)	東 京	都 内 視 察	ホテルニューオータニ (東京)
17	11月6日(月)	東 京	10:00 新東京国際空港 (成田) 発 (PK)	

## 中国省市責任者訪日代表団滞在日程

10月21日（土）第1日

（東京都）

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
14:15	新東京国際空港着	中国民航 925便	奥田会長、松島総長、符浩大使ら出迎え 北10号室（1階） にて歓迎式  (15:00～15:20)
15:23 16:47	同上発 ホテルニューオータニ着	バス	総長・秘書長事務打合せ (17:30～ )  夕食（本館17階 「ブルースカイラウンジ」）
19:05 19:30	同上発 中国大使館着	バス	
21:30 21:30	同上発 ホテルニューオータニ着		渉外部長・秘書長事務打合せ (22:00～22:50)  〔ホテルニューオータニ泊〕

10月22日(日)第2日

(東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:30 9:50	ホテルニューオータニ発 東京消防庁着	バス	消防施設参観 (説明者：総務部長 曾根晃平氏、 丸の内消防署長 藤森真司氏ら)
11:21 11:38	同上発 ホテルニューオータニ着	バス	休憩 昼食(本館16階大観苑にて 11:45~12:40)
13:35 13:52	同上発 NHK放送センター着	バス	放送施設参観 (あいさつ：専務理事・放送総局長 堀 四志男氏 説明：国際局長 吉田和人氏ら)
16:38 16:41	同上発 国立代々木競技場着	バス	競技施設参観 (説明：国立競技場常勤理事 中島 茂氏)
17:25 17:48	同上発 ホテルニューオータニ着	バス	夕食(大観苑にて 17:55~18:25)
			[ホテルニューオータニ泊]

10月23日(月)第3日

(東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
8:55	ホテルニューオータニ発	バス	迎賓館歓迎式 (主任・副主任・黄通訳のみ出席)
9:00	迎賓館着		
9:55	ホテルニューオータニ発	バス	非出席者乗車—迎賓館にて歓迎式出席者同乗(10:00)
10:18	東京都庁着		都政概要説明 (2階庁議室 10:20~11:15) (説明者:副知事 志賀美喜哉氏) 美濃部亮吉東京都知事会見 (2階特別応接室 11:15~11:40)
11:35	同上発	バス	
11:48	東京会館着		東京都知事主催昼食会 (11階エメラルド 11:50~13:25) 主な出席者:美濃部知事、志賀副知事、 有野外務長ら
13:28	同上発	バス	
13:35	新幹線総合指令所 (東京駅構内)着		新幹線総合指令所参観 (13:40~14:55) (説明者:国鉄常務理事 尾関雅則氏 新幹線総局長 君ヶ袋真一氏 外務部長 手島典男氏ら)
15:01	同上発	バス	
15:08	警察総合庁舎着		交通管制センター参観 (15:13~15:45) (説明者:警視庁交通部高橋義孝管理官ら)
15:55	同上発	バス	
15:58	自治省 (人事院ビル)着		加藤武徳自治大臣会見 (16:00~16:30) (同席者:染谷政務次官、林事務次官、 石見官房長、大林総務課長)
16:32	同上発	バス	
16:35	通商産業省着		河本敏夫通商産業大臣会見 (16:47~17:07) (同席者:宮元通商政策局長、 広海北アジア課長)
17:10	同上発	バス	

(東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
17:31	ホテルニューオータニ着		<p>奥田良三 全国知事会会長主催晩さん会 (本館1階「楓の間」 19:00～20:48)</p> <p>主な出席者： 奥田会長(奈良)、小畑副会長(秋田)、 山本(宮城)、中田(富山)、恒松(島根)、 宮澤(広島)各知事 関(新潟)、松永(埼玉)、白根(神奈川)、 岩田(愛知)、吉原(三重)、 西川(滋賀)、喜安(愛媛)各副知事、 加藤自治大臣 染谷自治政務次官、石見自治省官房長、 大林自治省総務課長、広海通産省北アジア課長、 金蘇城中国大使館一等書記官 潘淵静       "       " 松島全国知事会事務総長ほか</p> <p>[ホテルニューオータニ泊]</p>

10月24日（火）第4日  
〔万里団長および黄世明通訳のみ〕

（東京都・茨城県）

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
13:15	ホテルニューオータニ発	乗 用 車	(午前中ホテルで休憩) 昼食（ほり川）
13:30	赤坂御苑着		天皇陛下主催 園遊会 (福田総理、平山全国市長会会長らと歓談)
15:00	同 上 発	乗 用 車	
15:40	国鉄上野駅着		上野駅貴賓室にて団長、黄世明両氏、背広 に着替える（警護のため。）随行安達渉外部長
16:00	同 上 発	国鉄 常盤線 (ひたち15号)	
17:18	水戸駅着		
17:20	同 上 発	乗 用 車	
17:25	水戸京成ホテル着		竹内藤男 茨城県知事主催晩さん会 (18:30～20:40) 主な出席者：竹内知事、山本副知事、 全国町村会会長・玉造町長 坂本常蔵氏ら
			[水戸京成ホテル泊]



10月24日(火)第4日  
 [万里団長・黄世明通訳をのぞく全員]

(東京都・茨城県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
8:06 10:46	ホテルニューオータニ発 東京電力(株) 鹿島火力発電所着	バス	火力発電所(出力440万キロワット)参観 (説明:鹿島火力発電所長 石橋 巧氏) 集合煙突(高さ230m)の上から鹿島臨海 工業地区全景視察(12:08~12:41)
12:46 13:05	同上発 鹿島セントラルホテル着	バス	昼食 (13:10~13:58)
14:03 15:07	同上発 動力炉・核燃料開発事 業団 大洗事業所着	バス	大洗工学センター参観 (あいさつ:事業団副理事長 鵜木丈夫氏) 説明:センター所長 坂田 肇氏ら)
16:27 17:00	同上発 茨城県公館着	バス	竹内藤男 茨城県知事会見
17:30 17:35	同上発 水戸京成ホテル着		茨城県知事主催晩さん会 (18:30~20:40) 主な出席者:竹内知事、出本副知事、 全国町村会会長・玉造町長 坂本常蔵氏ら
			[水戸京成ホテル泊]

10月25日(水)第5日

(茨城県・東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
8:05	水戸京成ホテル発	バス	高エネルギー物理学研究所施設参観 (説明者: 亀井亨、菊地健両教授)
9:50	高エネルギー 物理学研究所着		
11:12	同上発	バス	筑波大学本部訪問 (説明者: 小西甚一副学長ら)
11:19	筑波大学本部着		
12:16	同上発	バス	学術情報処理センター参観 (説明者: センター長 中山和彦教授)
12:23	筑波大学学術情報処理 センター着		
13:02	同上発	バス	昼食
13:13	京成レストラン着		
13:47	同上発	バス	展望塔より筑波研究学園都市全景視察
13:57	松見公園着		
14:17	同上発	バス	農業用機械工場参観 (説明者: 筑波工場長 榎 伸氏ら) 万里団長および黄世明通訳のみ 16時 に一行と別れて東京ホテルニューオータ ニでの鄧小平答礼宴におもむく。
14:43	久保田鉄工(株) 筑波工場着		
16:31	同上発	バス	ビニーハルウス(きゅうり栽培)および自宅 参観(谷和原村 広瀬 満氏宅)
16:47	農家広瀬氏宅着		
17:18	同上発	バス	夕食(大観苑)
20:11	ホテルニューオータニ着		
			[ホテルニューオータニ泊]

万里団長、鄧小平副総理答礼宴出席のため帰京

10月25日(水)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
16:05	久保田鉄工(株) 筑波工場発	乗用車	万里団長、黄世明通訳と安達渉外部長3名のみパトカー先導で我孫子に向う。 団長再び背広姿になる。
17:00	我孫子駅発	営団地下鉄 千代田線	地下鉄で霞ヶ関に向う。
18:05	霞ヶ関駅着		通産省構内にパトカー待機
18:10	同上発	乗用車	
18:25	ホテルニューオータニ着		潘淵静一等書記官迎えにくる。 鄧小平副総理答礼宴のホスト席につく。

10月26日(木)第6日

(東京都・福岡県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
7:13	ホテルニューオータニ発	バス	日航「桜の間」で小憩
7:47	羽田空港着		
8:45	同上発	日本航空 355便	
10:52	福岡空港着		亀井 光 福岡県知事会見 (知事室)
10:55	同上発	バス	
11:30	福岡県庁着		
11:50	同上発	バス	昼 食
12:00	ホテルニューオータニ 博多着		
13:30	同上発	バス	都府楼跡参観 (説明者：県教育庁 松岡 史氏)
14:03	都府楼跡着		
14:22	同上発	バス	農業試験場参観 (説明者：試験場長 沢辺恵外雄氏)
14:37	県立農業試験場着		
15:40	同上発	バス	あいさつ：福岡市都市高速鉄道建設 局長 大石秀雄氏 説明者：同工事部長 原 一夫氏 地下鉄工事現場参観(17:27~17:50)
16:41	県立勤労青少年 文化センター着		
17:57	同上発	バス	
18:23	ホテルニューオータニ 博多着		福岡県知事主催晩さん会 3階「あやめ」の間 (18:50~20:40)  主な出席者： 亀井知事、小林副知事、 北九州市長 谷 伍平氏 福岡市助役 竹田隆輔氏 福岡県日中友好協会理事長 篠原文治氏ら  [ホテルニューオータニ博多泊]

10月27日（金）第7日

（福岡県・広島県）

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
8:50	ホテルニューオータニ 博 多 発	バ ス	
8:55	博 多 駅 着		博多駅貴賓室で小憩 （竹下広島県副知事が出迎え）
9:24	同 上 発	新 幹 線 （ひかり6号）	
11:10	広 島 駅 着		
11:17	同 上 発	バ ス	
11:27	広島グランドホテル着		昼 食（竹下副知事ら同席） （3階 食事室にて）
12:15	同 上 発	バ ス	
12:20	広 島 県 庁 着		宮澤 弘 広島県知事会見 （第一応接室）
12:53	同 上 発	バ ス	
13:12	三菱重工業（株） 広 島 造 船 所 着		造船所参観 （説明者：造船所長 馬場太平氏ら）
14:32	同 上 発	バ ス	
15:00	東洋工業（株）本社着		自動車工場参観 （説明者：社長 山崎芳樹氏ら）
17:24	同 上 発	バ ス	
17:50	広島グランドホテル着		小 憩  広島県・市・商工会議所共催 歓迎晩さん会（19:05～21:25） 主な出席者： 広島県知事 宮澤 弘氏 広島市長 荒木 武氏 広島商工会議所副会頭 加藤三千之氏 広島県会議長 児玉秀一氏 東洋工業（株）社長 山崎芳樹氏 三菱重工（株）広島造船所長 馬場太平氏 竹下副知事ら  [広島グランドホテル泊]

10月28日(土)第8日

(広島県・奈良県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
8:33 8:43	広島グランドホテル発 原爆慰霊碑着	バス	献花 (案内者：広島市助役 沢田秀男氏 説明者：平和記念資料館々長 矢野俊夫氏)
8:50 8:53	同上発 平和記念資料館着	徒歩	参観 (案内者：沢田助役 説明者：矢野館長)
9:38 9:48	同上発 県環境センター着	バス	参観 (説明者：所長 清水良次氏ら)
11:05 11:33	同上発 基町地区着	バス	基町地区再開発事業参観 (殿原光晴氏宅参観) (説明者：県都市部次長 坊敏之氏ら)
12:20 12:27	同上発 広島グランドホテル着	バス	昼食(12:30~13:00) 3階「橘」にて
13:32 13:41	同上発 広島駅着	バス	広島駅貴賓室で小憩
14:12	同上発	新幹線 (ひかり10号)	
16:08 16:17	新大阪駅着 同上発	バス	バス内で京劇「三岔口」などのビデオを見せる
18:00 18:36 18:38	奈良ホテル着 同上発 菊水楼着	バス	小憩 奥田良三 奈良県知事主催晩さん会 (18:43~21:43) 主な出席者： 奥田奈良県知事、西口奈良県議長、 鍵田奈良市長、加藤奈良市議長、 上田奈良県副知事、前川奈良県副議長ら
21:53 21:57	同上発 奈良ホテル着	バス	[奈良ホテル泊]

10月29日（日）第9日

（奈良県）

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:05 9:19	奈良ホテル発 唐招提寺着	バス	拝観 (説明者：唐招提寺長老 森本孝順氏)
10:22 10:47	同上発 東大寺着	バス	大仏殿拝観 (説明者：大仏殿主任 橋本聖園氏)
11:50 11:59	同上発 奈良国際ホテル着	バス	昼食ののち、パチンコ店およびスーパーマ ーケット（ダイエー）をのぞく
13:36 14:28	同上発 岡本（株）着	バス	靴下製造工場参観 (説明者：代表取締役社長 岡本久太郎氏ら)
15:27 15:57	同上発 奈良浄化センター着	バス	施設参観 (説明者：上田副知事、奈良県浄化セン ター所長 安井明巨氏ら)
16:54 17:23	同上発 奈良ホテル着	バス	奈良県知事主催晩さん会 (18:05～19:58) 主な出席者：知事、副知事、議長、副議長 奈良市長、市議長、池田市長 会会長、置本町村長会会長、 各種団体、報道関係ら
			[奈良ホテル泊]

10月30日(月)第10日

(奈良県・京都府・愛知県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:00	奈良ホテル発	バス	奥田良三 奈良県知事会見(5階特別室)
9:04	奈良県庁着		
10:22	同上発	バス	林田悠紀夫 京都府知事会見(第一応接室)
12:00	京都府庁着		
12:18	同上発	バス	京都府知事主催昼食会 (4階鳳凰の間 12:44~13:50) 主な出席者: 林田知事、荒巻、野中両副知事、玉植範在大阪中国総領事ら
12:35	都ホテル着		
14:01	同上発	バス	小憩
14:23	古代友禅苑着		参観 (説明者: 古代友禅苑社長 近藤彩人氏ら)
15:33	同上発	バス	京都駅特別室で小憩
15:42	京都駅着		
16:05	同上発	新幹線 (ひかり136号)	
16:53	名古屋駅着		愛知県・名古屋市・名古屋商工会議所共催 晩さん会 (3階「紫雲」18:30~20:12) 主な出席者: 愛知県知事 仲谷義明氏夫妻 名古屋市長 本山政雄氏夫妻 名古屋商工会議所 会頭 三宅重光氏 篠塚、岩田両副知事 高橋愛知県会副議長ほか
16:58	同上発	バス	
17:12	名古屋都ホテル着		
			[名古屋都ホテル泊]



10月31日(火)第11日

(愛知県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
8:43	名古屋都ホテル発	バス	出発前、地下街参観
8:56	愛知県庁着		仲谷義明 愛知県知事会見(知事室)
9:30	同上発	バス	
10:10	名古屋港着		篠塚行夫副知事同行 名古屋港一周 (説明者:名古屋港管理組合 副管理者 紅村 文雄氏 総務部長 伊藤 清氏)
11:40	同上発	バス	
12:50	トヨタ自動車工業(株)着		トヨタ会館で昼食・展示場参観 (12:53~14:21) (副社長 山本重信氏ら同行) 高岡工場参観 (14:53~15:35) (説明者:高岡工場長 安藤隆敏氏ら)
15:35	同上発	バス	
16:46	名古屋都ホテル着		休憩
17:47	同上発	バス	
18:02	県公館着		愛知県知事主催晩さん会(立食式) (18:00~19:45) 主な出席者:仲谷知事夫妻 篠塚・岩田両副知事 真木愛知県会議長 高橋副議長 桑原前知事 三宅名古屋商議所会頭 浅井名古屋市助役 後藤 淳 愛知工大学長夫妻ら
19:48	同上発	バス	
20:02	名古屋都ホテル着		[名古屋都ホテル]

11月1日(水)第12日

(愛知県・東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:19	名古屋都ホテル発	バス	
9:25	名古屋駅着		名古屋駅貴賓室で小憩
9:43	同上発	新幹線 (ひかり120号)	
11:44	東京駅着		
12:00	同上発	バス	
12:15	ホテルニューオータニ着		昼食(大観苑12:35~13:00)
13:52	同上発	バス	
14:03	国会議事堂着		保利茂衆議院議長会見 (14:07~14:21) (同席者:渉外部長 浅羽満夫氏) 衆議院本会議場参観 安井謙参議院議長会見 (14:27~14:50) (同席者:事務総長 植木正張氏) 参議院本会議場等参観
15:10	同上発	バス	
15:15	外務省着		園田直外務大臣会見 (15:35~15:52 階大臣室) 同席者:アジア局次長 三宅和助氏 中国課長 田島高志氏 中国課 富田昌宏氏(通訳)
15:47	同上発	バス	
16:07	ホテルニューオータニ着		
17:28	同上発	バス	
17:37	内閣総理大臣官邸着		安倍晋太郎内閣官房長官会見 (17:42~18:05) 同席者:官房長官秘書官 川上隆朗氏 外務省中国課 小原育夫氏(通訳)
18:08	同上発	バス	
18:16	ホテルニューオータニ着		夕食(すきやき岡半にて) (18:35~19:35) [ホテルニューオータニ泊]

11月2日(木) 第13日

(東京都・神奈川県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:08	ホテルニューオータニ発	バス	
9:55	東京芝浦電気(株) 東芝科学館着		東芝科学館参観 (説明者:館長 本郷孝信氏ら)
11:25	同上発	バス	
12:00	日本鋼管(株) 京浜製鉄所着		昼食(12:00~13:20) 休憩(13:20~13:45) 製鉄所参観 (13:45~15:55) (説明者:京浜製鉄所長 三宅幸夫氏ら)
15:55	同上発	バス	
16:30	神奈川県庁着		長洲一二 神奈川県知事会見 (新庁舎5階 第5会議室)
17:10	同上発	バス	
17:20	華正楼着		神奈川県知事主催晩さん会 (17:30~19:30) 主な出席者: 長洲知事、白根、陌間、湯沢各副知事 三好県会議長、関野副議長、 松林横浜市助役 横浜華僑総会会長 馬偉鴻氏ら
19:30	同上発	バス	
21:25	ホテル小涌園着		[ホテル小涌園泊]

11月3日(金)第14日

(神奈川県・東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:30	ホテル小涌園発	バス	箱根観光に向かう
10:00	駒ヶ岳登り口着		
10:00	同上発	ケーブルカー	
10:10	駒ヶ岳頂上着		富士山眺望
10:40	同上発	ロープウェイ	
10:50	箱根園着		
11:00	同上発	バス	箱根関所跡参観
11:50	ホテル小涌園着		昼食(12:00~13:15)
13:30	同上発	バス	
15:25	ホテルニューオータニ着		小憩
17:25	同上発	バス	
17:45	中国大使館着		中国大使館で夕食(大使館招待)
21:20	同上発	バス	
21:40	ホテルニューオータニ着		
			[ホテルニューオータニ泊]

11月4日(土)第15日

(東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
5:30 6:00	ホテルニューオータニ発 東京都中央卸売市場 (築地市場)着	マイクロバス	(羅秋月、李福德両氏をのぞく9人参加) 市場参観 (説明者:築地市場管理課長 和田博氏)
7:22 7:40	同上発 ホテルニューオータニ着	マイクロバス	朝食(本館 ローズルーム) (7:45~8:07) 記者会見(朝日、毎日、読売、日経、 共同、時事等が出席) (10:00~10:30) (本館16階 「雲居の間」)
10:40 11:10	同上発 新宿三井ビル着	バス	総合研究開発機構(NIRA)訪問 (三井ビル 37階) (あいさつ:理事長 向坂正男氏) (説明:理事 山本明氏) 昼食(55階マンダリン・パレス)
13:10 13:40	同上発 電気通信科学館着	バス	電気通信科学館参観 (説明者:館長 白根禮吉氏ら)
15:45 16:00	同上発 都道府県会館着	バス	地方自治制度概要説明 松島全国知事会事務総長 (16:02~17:52 知事室)
17:57 18:00	同上発 ホテルニューオータニ着	バス	東京華僑総会との会食 (18:30~19:40 大観苑) 主な出席者:華僑総会会長 甘文芳氏夫妻 同 副会長 黄文欽氏 " " 吳普文氏 " " 博仁氏ら  [ホテルニューオータニ泊]

11月5日(日)第16日

(東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
16:15 16:45	ホテルニューオータニ発 東京駅八重洲地下街着	バス	午前 自由  昼食(本館1階 庭園内 「ガーデンバーベキュー」)  午後 自由  地下商店街、管理施設見学 (説明者:八重洲駐車場(株) 常務取締役 佐藤 忠氏)
18:00 18:25	同上発 芝「留園」着	バス	中国代表团主催晩さん会 主な出席者: 松島知事会事務総長、各部長 水品東京都外事課長 川島神奈川県東京事務所長 鳥山愛知県 〃 安部福岡県 〃 陳抗中国大使館参事官 金蘇城一等書記官 潘淵静 〃 劉吉生館員ほか
21:02 21:15	同上発 ホテルニューオータニ着	バス	[ホテルニューオータニ泊]

11月6日(月)第17日

(東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
7:00	ホテルニューオータニ発	バス	奥田会長ホテルで見送り
8:15	新東京国際空港着		北3~4号室にて歓送 松島総長等見送り(8:40~9:00)
10:00	同上発	パキスタン航空 753便	9:35にパキスタン航空職員の案内で VIPルームを出て出国の手続 帰国

(付) 地方視察における随行者

訪問府県	月 日	職 氏 名
茨城県	10/24. 25	全国知事会事務総長 松島五郎
		同 渉外部長 安達勇
		同 副部長 柳田躬嗣
		同 主事 金子正夫
		通 訳 大山沙理(女)
		日本交通公社添乗員 栗原正秀
福岡県	10/26. 27	
広島県	10/27. 28	渉外部長 安達勇
奈良県	10/28. 29. 30	同副部長 柳田躬嗣
京都府	10/30	通 訳 大山沙理
愛知県	10/30. 31	添乗員 栗原正秀
	11/1	
神奈川県	11/2. 3	次 長 宮元義雄
		渉外部長 安達勇
		参 事 大久保皓生
		通 訳 大山沙理
		日本交通公社ガイド 長澤信子
		(11月3日のみ)



#### 4 全国知事会会長主催晩さん会概要

(1) 日時、場所、出席者

〔日 時〕 昭和 53 年 10 月 23 日 (月) 19 時～20 時 50 分

〔場 所〕 東京・紀尾井町 ホテルニューオータニ  
本館 1 階 「楓の間」

〔出 席 者〕 (敬称略)

<自治省>	自治大臣	加藤武徳
	自治政務次官	染谷 誠
	官 房 長	石見隆三
	官房総務課長	大林勝臣
	通商政策局	
<通商産業省>	北アジア課長	広海正光
<知事>	秋田県知事	小畑勇二郎 (全国知事会副会長)
	宮城県 "	山本壮一郎
	富山県 "	中田幸吉
	奈良県 "	奥田良三 (全国知事会会長)
	島根県 "	恒松制治
	広島県 "	宮澤 弘
<副知事>	新潟県副知事	関 昭一
	埼玉県 "	松永緑郎
	神奈川県 "	白根雄偉
	愛知県 "	岩田 要
	三重県 "	吉原一真
	滋賀県 "	西川良三
	愛媛県 "	喜安虎夫

<東京事務所>

茨城県東京事務所次長	藤 崎 延 恒
神奈川県東京事務所次長	堀 金 正
富山県東京事務所長	細 川 清 甚
愛知県 〃	鳥 山 和 男
奈良県 〃	稲 田 忠 幸
福岡県 〃	安 部 恭 平

<中国大使館>

一等書記官	金 蘇 城
一等書記官	潘 淵 静

<通 訳 >

東海林 洋 子	大 山 沙 理
村 上 曜 子	岩 田 真 佐 子
貫 井 れい子	内 海 洋 子
赤 間 英 夫	

<全国知事会事務局>

事 務 総 長	松 島 五 郎
次 長	宮 元 義 雄
調査第二部長	吉 本 準
渉 外 部 長	安 達 勇
管 理 部 長	倉 重 正

小 計	38 名
中国代表团	12 名
合 計	50 名

## (2) 奥田良三会長あいさつ

全国知事会会長主催歓迎晩さん会

10月23日

於ホテルニューオータニ「楓の間」

全国知事会を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。尊敬する万里団長先生をはじめ、中国の訪日代表团ご一行の皆様には、遠路ようこそおいで下さいました。心から歓迎の意を表します。

まずもって、日中両国が等しく待望いたしておりました平和友好条約の批准書交換が、本日とどこおりなくとり行われましたことに対し、皆様とともに心からお慶び申し上げる次第であります。

貴国からご来日の鄧小平副総理閣下におかれましては、本日ちょうどただ今、わが国の内閣総理大臣主催による晩さん会にご出席いただいていることと存じます。したがいまして、わが国の閣僚はほとんどが同席いたしていることと思いますが、特に、加藤自治大臣には、日本国政府の代表として、本席にご出席をお願いいたしました。加藤自治大臣からはのちほどごあいさつをいただきます。

私は、1974年の8月、わが国の知事代表一行が貴国を訪問いたしました際、その後半の団長として各地を訪問させていただきました。

その際は貴国として特別な待遇をしていただき、また、各地で真に熱烈な歓迎を受け、かつ貴重な見聞を得る機会を与えていただきましたことを、厚くお礼申し上げ、貴国の関係省市の責任者各位をはじめ、中国国民の皆様に対し、深甚なる謝意を表する次第でございます。

明日からは、わが国の地方行政の実態、工業、交通、都市建設等の発展状況をご視察いただきますとともに、科学技術、文化等の各種施設をご見

学願うため、私の県をはじめ、関東・東海・近畿・中国・北九州各地方の日本の最も特徴的な府県をご案内申し上げる所存でございますので、各地の実情を十分にご視察いただき、願わくば各種施策等について適切なご指摘、ご意見を賜われますれば、まことに幸いに存じます。

また、この季節はわが国の最も気候の良い時でもあり、自然景観の美しい時でもありますので、各地方の自然美や伝統的文化など、時間の許すかぎりご観光いただきたいと存じます。

本日は、先程もお話し申し上げましたが、平和友好条約の批准書の交換という日中両国にとって記念すべき日であり、このような時に、このような招宴を開くことができましたことを、私は心から喜びとするところであります。万里先生をはじめ代表団の方々もご同感のことと存じますので、本席では共にその喜びをわかち合う意味で気楽におくつろぎいただき、愉快ないつとき一時をお過ごし下さいますようお願いいたしまして私のごあいさつといたします。

### (3) 万里団長あいさつ

全国知事会会長主催歓迎晩さん会

10月23日

於ホテルニューオータニ「楓の間」

尊敬する奥田良三会長先生、尊敬する加藤武徳大臣閣下、尊敬する小畑勇二郎副会長先生、尊敬する全国知事会の友人の皆様、尊敬する日本各界の友人の皆様。

天高く、紅葉の季節、中日両国政府が平和友好条約の批准書を交換し、中日友好が新しい高まりに入った喜ばしい時期に、われわれは日本全国知事会のお招きに応じ貴国を訪問いたしました。

われわれ代表団は七つの省市の責任者からなっており、毛主席の故郷の湖南省や首都北京の責任者もいるし、四川省・甘肅省・黒龍江省・河北省・安徽省の責任者もいます。われわれは、これら省市人民のよしみをたずさえ、美しい日本の土に足を踏み入れるや否や、奥田良三知事先生、日本全国知事会の友人の方々から暖い歓迎を受けました。今宵はまた、われわれのために盛大なレセプションを開いていただきました。私は団員全体を代表して、心のこもった歓待に対し、衷心より感謝申し上げます。

いま中日両国人民は、こぞって中日平和友好条約の正式発効を喜び祝っております。われわれは皆、中日国交樹立のとき、周恩来総理が水を飲むとき井戸を掘った人のことを忘れないといわれたのを覚えています。中日友好の発展は今日このような喜ばしい情勢になっていますが、これは、中日両国人民が共同の努力をしたたまものであり、日本の各界の友人の長い奮闘の結果であります。そのために尊い生命を捧げた日本の友人さえいます。われわれは、このような、友人たちの努力と貢献を永遠に忘れることはありません。

ません。

われわれ両国は近隣の国同士であり、人民の間の友好往来は永い歴史を持っています。ここ二十数年来、友好往来はたえず増加してきました。1960年代に入ってから貴国の県、市などの自治体代表団が相ついでわが国に来訪し、とくに国交樹立以後は友好訪問はますます多くなりました。1974年8月には、桑原幹根先生と奥田良三先生が日本の全国知事会代表団をみずから率いてわが国を訪問され、われわれに深い印象を残しました。現在までに貴国の47都道府県のうち44の知事あるいは自治体代表団がわが国を訪問しました。さらにまた、上海と大阪、天津と神戸、西安と京都、奈良が相前後して友好都市の関係を結び、経済文化交流を進めております。貴国の幾多の県や市の議会は、これまで平和友好条約の早期締結に関する決議をされました。これらはいずれも両国の友好関係の発展のため確固とした基盤をつくり、貴重な貢献をしました。私はこの機会をかりて、偉大な中日友好事業のために尽力されてきた日本の友人の皆様に対し心からの敬意を表します。

本日、1978年10月23日は、われわれ中日両国人民にとって永遠に記念すべき、歴史的な意義のある日となりました。世をあげての注目を浴びた中日平和友好条約はきょうから正式に発効し、中日関係は新しい段階に入りました。われわれ両国の10億の人口は、互いに助け合い、世々代々友好関係を保つことが必要であります。われわれは、アジア、太平洋地域においても、世界のその他の地域においても、われわれ両国が覇権を求めず、また他のいずれの国又は国の集団によるこのような覇権の試みにも反対することを厳かに宣言しましたが、このことは、アジアと世界の平和に深遠な影響を与えるでしょう。

中日平和友好条約の発効以後、われわれの間の友好往来はいっそう大きな発展を示すことでしょう。われわれは、中日平和友好条約の精神を貫徹し、中日友好をますます豊富、多彩かつ実質的内容のあるものとするため、日本の友人の皆さんとともに奮闘したいと思います。

わが国は、華主席ならびに党中央の指導の下、安定と団結を実現し、全国人民はいま四つの現代化をめざしてすすんでいます。ただ、われわれの工業、農業の生産水準と科学技術の水準はまだ比較的立ち遅れています。われわれは、今回の友好訪問を通じ、貴国の工業、農業、都市建設と科学技術の発展状況の参観を通じて、貴国の人民から学びとりたいと思います。同時にわれわれは、このたびの訪問を通じ、われわれ両国の地方政府間の友好協力関係を推進し、発展させたいと念願しております。

おわりに、われわれは中日平和友好条約の発効を慶祝し、中日両国民の世々代々の友好を願い、奥田良三先生のご健康を祝し、加藤武徳閣下のご健康を祝し、ご出席の友人の皆さまのご健康を祝して私のごあいさつといたします。

#### (4) 加藤武徳自治大臣あいさつ

全国知事会会長主催晩さん会

10月23日

於ホテルニューオータニ「楓の間」

このたびわが国は鄧小平閣下をお迎えし、きょう日中平和友好条約批准書の交換が終り、まことにめでとうございます。

長い間の日中両国間の不幸な関係を断ち、ここに新しい関係ができたことはまことにめでたいことです。

そして記念すべきこのとき、全国知事会の招きで多数の省、市の指導者の皆さまをお迎えして、こんな嬉しいことはありません。

本日午後、万里団長はじめ皆さまには自治省をお訪ねいただき、中国の地方制度についてお教えいただきありがたく存じています。早く中国に來い、と言われて私は感激しています。

日中両国が本当に親善を深めるためには、中央政府間のみでなく、地方と地方とがしっかり手を結ぶことが最も必要だと思います。

そして今日は東京都内で警視庁その他各所をご視察になった由であります。明日以後はいそがしいスケジュールが組まれていて、多くの地方を見ていただくことになっていると承っています。これは本当に素晴らしい計画だと思います。

私は先ほど代表団の方々から、中国へ来れば、甘いものも辛いものもすっぱいものも食べさせてやると言われました。

素晴らしい料理もできているので、ごあいさつもこの程度にして、ご一行の無事なご旅行をお祈りいたします。



## 5 政府要人との会見要旨

### (1) 加藤武徳自治大臣との会見

(10月23日 於自治省)

**加藤自治相** 皆様よくいらっしゃいました。私は自治大臣の加藤武徳です。

自治省は都道府県、市、地方団体の世話をしております。また、消防、災害などについても地方の世話をします。このたびは中国と日本との平和友好条約の批准書の交換が行われたことを心からお祝い申し上げます。日本の国民はあげて喜んでおります。本日3時半から、総理官邸で福田総理と鄧小平副総理との第1回目の会談が行われています。いまここに、中国省市の皆さまをお迎えしたいへん嬉しく存じます。中国と日本とは隣の国でありながら、日本は中国の地方のことは余り知りません。中国も日本の地方については余り理解してもらっていないかと思っております。今回の日程では、明日から数県を訪問されるようですが、その機会に日本の地方の経済、産業をよくみて頂ければこんなありがたいことはありません。そのことが両国の親善を深めることになると思っております。この機会に日本をよく見て頂き、両国の親善を深めて頂きたいと存じます。

**万里団長** 尊敬する加藤大臣閣下、本日、中日平和友好条約が批准された喜ばしい日に、加藤大臣から手厚いもてなしを受け、また暖い言葉を頂いてありがたく思います。私は今日の午前、鄧小平副主席の歓迎式に参列し、都庁を訪問して都政について説明を伺ったのち、美濃部知事の午さん会に出席しました。午後は新幹線コントロールセンターおよび警視庁交通管制センターを訪問し、たいへん得るところがありま

した。明日、東京を離れます。このたびの訪問を通じ、両国人民の交流を深める上で役に立つと思います。私たちは日本人民との友情を深め、科学技術の交流を深めるため、今後いっそう都道府県の方々との交流を盛んにして行きたいと思います。

加藤大臣の会見に改めて感謝してごあいさつといたします。

**加藤自治相** 私も岡山県の知事を8年やりました。ところで貴国の省と大きな市とは同格ですか。

**万里団長** 中央政府の下に直轄市3、省、自治区があります。この三つは並行しています。省の下に市、県があり、省の政府が専員公署（省の出先機関）を置いています。県の下に人民公社があります。四川省は人口9,000万人、黒龍江省は面積70万平方キロ、安徽省は面積13万平方キロ、人口4,600万。浙江省は人口はもっと多いです。

**加藤自治相** 中国には婦人の知事はいますか。

**万里団長** 湖北省では副知事に2人の女性がいます。甘肅省には1人います。みんな人民代表大会で選出されます。私が北京市副市長だったとき、北京にも女性の副市長がいました。いまはいないようです。末端に行くほど、女性が要職についている例が多いです。とくに軽工業部門に多いようです。

**加藤自治相** 私も機会を得てまた中国に行きたいと思います。

**万里団長** 加藤大臣が中国へ来られたときは地方の一番いい料理を出したいと思います。甘い料理もからい料理もすっぱい料理も出せます。また、いつでも旅行できます。広い中国では暑いところも涼しいところもあります。黒龍江省で雪が降っていても、南方（湖南省など）は暖い。

## (2) 保利茂衆議院議長との会見

(11月1日 於衆議院)

**保利議長** 日本へ来られてから大ぶん回られましたか。

**万里团长** 東京から茨城、福岡、広島、奈良、京都、愛知の各府県を訪問しました。

**保利議長** 10月22日に私どもは鄧小平副総理のご一行をお迎えしました。日中両国間に、過去数千年の間なかったような友好関係が確立したことを嬉しく思っています。鄧小平さんとは日本でお会いになりましたか。

**万里团长** 鄧小平氏の一行は、われわれが奈良に到着した同じ日に、その少し前に奈良を立ちました。東京では、私は鄧小平副主席の歓迎式に出席し、また園遊会に招かれて天皇陛下と福田総理にお会いできたことを嬉しく思っています。

**保利議長** 日中両国間の友好は、ただ単にかけ声だけでなく、素晴らしい実体となりつつあることを感じます。

**万里团长** 両国の関係はいま新しい時期に入ったと思います。

日中間には過去2,000年の友好関係がありました。ある短い期間はそうでもありませんでした。両国間の平和友好関係を維持し発展させることは、両国人民の利益にかなうだけでなく、アジアと世界の平和に寄与するものと思います。

**保利議長** 皆さん方は日本各地を回られて、まるで自分の親類の家を回っているような、ゆるやかな気持を持たれたことと思います。

**万里团长** 全くその通りであります。私たちは自分の家にいるような落ち着いた感じがしました。

**保利議長** 奈良を訪問された由ですが、古い日本が一番残されている所が奈良とその周辺なのです。

**万里団長** 奈良はまことに美しい、古い都です。

**保利議長** 唐招提寺をごらんになりましたか。

**万里団長** 参観しました。

**保利議長** そこにある鑑真の像はパリでも非常な好評でした。今度鄧小平さんが来られたとき、鑑真和上の里帰りを歓迎すると言っておられました。

**万里団長** 最近、あの像が中国に行くことになったと聞いて喜んでいました。

**保利議長** 実は今年の春、中国の全国人民代表大会常務委員会の招きを受けたので、近く各党の代表とともにお国を訪問したいと思います。葉劍英委員長はじめ中国の皆様にお逢いできると思います。今日、外務省から連絡を受けました。

### (3) 安井謙参議院議長との会見

(11月1日 於参議院)

**安井議長** 本日は中国の地方の代表の方々が来られて大変嬉しく存じます。ご承知のとおり、中国と日本とは親しい関係を保ち、互いに助け合っ  
ていかねばならないと思っています。日中平和友好条約もめでたく締結、  
批准され、お国から鄧小平副総理もおいでになりました。副総理のご  
来日に際しては、われわれ国をあげて大歓迎申しあげたことはご承知  
のとおりです。

皆さんは地方の省や市の責任者と伺っています。すでに自治大臣に会

われたかと思えます。私も十数年前に自治大臣を勤めた関係もあり、皆さんに対するささかの親しみを感じております。皆さんの滞在日数は長くないので、これからの残された日程も十分に有効に過ぎていただきたいと思います。どうか今後の中国の発展のためにつくされるとともに、日中関係の発展のためご尽力をお願いします。われわれも努力したいと思います。

**万里団長** 安井議長、お忙しい中をお会い下さり感謝申し上げます。また、ただいま中日友好条約についてありがたいお言葉を賜わり嬉しく存じます。われわれの団が代表している七つの省と直轄市の人口は合わせて3億になります。全国の省の責任者が揃ってくることは仲々できません。日本からは、これまで知事会の多くの知事が訪中されました。中国の代表団員は、ほとんど皆、今回はじめて来日しました。行く先で日本人民の熱い友情を肌で感じました。そして日本の経済、科学、教育、文化、都市建設の先進的な経験を紹介していただきました。今後中国は経済、科学、技術、文化の各分野で新たな発展を見せると思っています。これは中国がいま新しい段階につき進んだからです。われわれ両国の人口は10億あまりあり、両国の関係を発展させることは、経済、文化、科学技術の発展に役立ち、世界の平和に役立つものと思えます。

今日はお忙しい中を会って下さってありがとうございました。

おみやげに四川省の竹細工、鄧小平氏の出身地の工芸品を贈りたいと存じます。

**安井議長** いい記念品をいただきお礼申しあげます。先日歓迎申しあげた鄧小平さんもそこにお座りになりました。ところで皆さんのご日程は

どうですか。

**万里团长** ホテルに着いてから、鹿島臨海工業地区、筑波研究学園都市、福岡県、広島県、奈良県、京都府、愛知県を見てきました。どこでも熱烈な歓迎を受けました。われわれとしても得るところ大きなものがありました。われわれは訪問を通じ、日本人民が中日平和友好条約の成立を喜んでいること、自信を持っていることを感じました。われわれは日本の経済、科学技術、文化面を学んできました。戦後の日本の進歩は著しいことに深く感銘しました。わが国の経済、科学、技術は立ち遅れています。皆さんから学びつつ工業、農業を発展させていきたいと思えます。どうかよろしく願います。すでに両国間の人の往来が増え、現在の飛行機の便数では間に合わなくなっています。

**安井議長** いま万里先生は、中国が科学技術等の点でまだ十分でないと言われましたが、中国人民が一致団結してやれば、やがて日本に追いつき追い越すんじゃないかと思っています。

**万里团长** われわれはこれから相当頑張らなければなりません。

**安井議長** お互いに大いに頑張りましょう。

**万里团长** 中国は人口、資源が豊富です。

**安井議長** 中国は将来有望な国です。これからもわれわれは中国と仲良くやって行きたいと思えます。

#### (4) 園田直外務大臣との会見

(11月1日 於外務省)

**万里団長** 会見して頂いたことを感謝します。外相は一番忙しい職だと伺っています。

**園田外相** 皆様のご来訪を心から歓迎します。先般北京に行って平和友好条約を締結したとき、中国人民の友情と親切に触れました。これが成功したのも皆さんのおかげだと心から感謝しております。条約の締結は日中のみならず世界の歴史を変えるものだと私は確信しています。先日鄧小平副主席が訪日されました。その時の国民の歓迎については、政府は一切指図も干渉もしませんでした。にもかかわらず、鄧小平副主席が来られてから1時間、2時間、1日、2日とたつうちに、国民が自分から出てきて歓迎しました。関西では鄧小平先生への歓迎は最高潮に達しました。これは、鄧小平先生の人柄を通じて日本国民が中国の姿に対して抱いている友情と信頼の現れであります。そこへまた、有力な皆さん方がお出でになって各界各層の人々と接触されることは大変有意義なことです。皆さんも各所を回られて、日本国民の中国に対する好意は心からの友情と好意であり、仕組まれたものでないことはよくお分りになったことと思います。日本国民は100年間の罪の償いということもあり、未来における両国民の平和への責任を痛感しています。皆さんの現代化に協力したいと思います。どうか各界各層の人々と会って頂きたい。そして理解を深めて頂きたいと思います。お国へお帰りになったら、華国鋒、鄧小平両氏に対し、このたびの副総理の訪日は、最大の成果であったことをお伝え頂きたいと思えます。私は嬉しいときしゃべりすぎるクセがあり、ついおしゃべりしました。

**万里団長** われわれは、中日平和友好条約の批准書が交換され、条約が発効したときに訪日しました。鄧小平副主席が日本を訪問し歓迎を受けている時に来ました。われわれは中国の七つの省・直轄市の責任者であります。お国の指導者ならびに国民の皆さんが中国に対して友好的であることをハダで感じました。われわれは茨城、福岡、広島、奈良、京都、名古屋を訪問し、それぞれの責任者の歓迎を受けました。充実した訪問でした。日本の人民は中国との平和友好を強く望んでいることを知りました。奈良は2,000年来の友好を伝えており、遺跡が残っていることを知りました。100年間の不幸な出来事がありました。がもう過去のことです。中日両国は平和友好でなければなりません。子々孫々にそれを伝えていかねばなりません。中国人民は条約の成立を喜んでいます。日本人民も喜んでいます。これは中日両国政府の努力の賜です。われわれ両国の歴史はいま新しい段階に進みました。園田氏は重要な役割を果たされました。謹んで敬意を表したいと存じます。

**園田外相** メキシコ大統領との会談があるのでこれで失礼させていただきます。帰国されたら皆さんによろしくお伝え下さい。

## (5) 安倍晋太郎内閣官房長官との会見

(11月1日 於総理官邸)

**安倍長官** 福田総理がいま出ているので私が代ってお会いすることとなりました。万里主任とは、先日の鄧小平副総理の晩さん会で私の隣におられたのでゆっくり話をうかがうことができました。本日再びお目にかかれて嬉しい。



**万里団長** 私も嬉しく思います。

**安倍長官** 来日がはじめての方もおありでしょう。どうかありのままの日本をごらんいただいてよくご理解いただくことを期待しております。先般は鄧副主席が来日され、日中条約批准書交換が終了して、日本と中国は新しい友好関係の時代に入りました。鄧小平ご一行を歓迎する歓迎の宴のときの光景は今思い出しても感銘新たなものがあります。これまでわが国の多くの県や市の代表が貴国に行き、お世話になっています。今後はさらに交流が活発になり、日本から大量に中国へおじゃますることになりましょうがよろしく申し上げます。この前鄧小平副主席にお会いしたとき、福田総理とともに私も中国へご招待頂きましたので、ぜひ中国に行きたいと思っています。

**万里団長** 歓迎いたします。

われわれは日本にきてから 12 日になります。日中両国の間で条約の批准書が交換されたとき、われわれは日本にいました。条約締結は両国の歴史における最も重要な出来事として、両国の人民は喜び祝っています。各県の知事や全国知事会の歓迎を受け、行き届いたスケジュールで、多くの行政指導幹部や人民から暖い接待を受けました。工業、農業、交通運輸、都市づくり、名所古跡を見て多くのことを学びました。主人側がわれわれに与えて下さった接待に感謝しています。このたび条約が締結され、発効しましたが、これはわれわれ両国の発展、関係が新しい段階に進んだことを示します。両国の関係が平和的、友好的に発展することは、アジア、世界の平和に好ましい影響を与えます。また両国間で助け合い協力する分野が広がると思います。われわれは日本の知事会に、来年都合のよいときに中国へきてほしいと言い

ました。保利議長も近く訪中されると伺っています。福田総理も訪中したいと言われました。今後、貿易、文化の交流もますます盛んになると思います。われわれの未来は明るいです。個々の国家、個々の人で反対しているものがありますが、彼らは人民を代表していません。たいしたことはありません。われわれは安倍長官のご来訪をお待ちしています。

**安倍長官** 先日、総理官邸で批准式が行われました。批准式の模様は、日本と中国だけでなく全世界に報道されました。日本人はほとんど皆これを歓迎しています。私はそのとき福田総理、鄧小平さんと常に同席しました。日中関係がこれから発展することを期待します。私のみでなく、日本人の大半がそういう考えだと思います。本日は広い中国の各省の代表にお目にかかり、親しくお話ができて嬉しく存じます。今度中国へ行く場合にも、中国の友人ができて嬉しいと思います。

**万里団長** 皆様のご来訪を歓迎します。中国各省と日本の各県との往来が強まることを期待します。すでに西安と奈良、京都とが友好関係を結んでおり、天津と神戸、上海と横浜、大阪とが友好都市となっており、また名古屋と南京とが友好都市関係を結びました。官房長官の好意に感謝します。

(持参した贈物を差し出しつつ) これは四川省の竹細工であり鄧小平の故郷の四川省の作品です。

付 録

(1) 招 請 状 (全国知事会会長から在日中国大使館あて)

知 渉 発 第 38 号

昭和 53 年 1 月 20 日

中 華 人 民 共 和 国 大 使

符 浩 殿

全 国 知 事 会

会 長 奥 田 良 三

1974 年に本会代表知事団が貴国を訪問いたしました際は、多大なご歓待を賜わり、心から感謝いたしております。

本会は、1978 年 10 月下旬に、貴国の代表団を日本へご招待申しあげたいと存じます。この旨貴国政府にご伝達下さるようお願いいたします。

招待人員は 10 名 (随員を含む。) とし、メンバーについては、省 (または中央直轄市) の革命委員会主任の中から選ばれることを期待いたします。

代表団のご一行は、日本滞在中、政府要人と会見するとともに、数都県を訪問して行政、産業、文化等の実情をご視察していただく予定であります。

なお、ご一行の日本における滞在期間は 10 日間とし、滞在費 (宿泊費、食事費および国内交通費) は、本会において負担いたします。

(2) 在日中国大使館から全国知事会あて文書

[ 訳 文 ]

全 国 知 事 会 御 中

ここに、中日友好協会から貴会あての電報をご伝達いたします。

この機会をかりて貴会に対し敬意を表します。

在日中華人民共和国大使館

1978年7月5日

[ 訳 文 ]

日 本 全 国 知 事 会 御 中

われわれは喜びをもって貴会の要請を受けました。11～2人で組織する中国省・市責任者訪日代表団を派遣し、10月下旬2～3週間貴国を訪問させたいと思っております。

具体的な名簿、出発日、参観の要望などについては後ほど別途お伝えいたします。

貴会のご好意に対し深く感謝いたします。何かご意見がありましたら、わが国の大使館を通じて本会にお伝え下さい。

中 日 友 好 協 会

1978年7月3日

(3) 礼 状 (万里団長から松島事務総長あて)

[ 訳 文 ]

全国知事会 事務総長  
松 島 五 郎 先生

中国省市責任者訪日代表団は貴国の訪問を順調に終了して、日本人民の深厚な友情により大きな収穫をあげて 11 月 6 日無事北京に帰着いたしました。

訪日期間に皆様から熱情ある接待といたれりつくせりのお世話を受け、中日両国人民の間の真摯な友情を深く感じ、われわれに忘れることのできない印象をお残しくくださったことについて、謹んで衷心より感謝申し上げます。

中日両国は一衣帯水、その歴史は悠久であります。中日平和友好条約の発効は、中日両国の友好関係が更に一つの新しい段階に突入したことを示します。われわれは深く信じ、今後日中両国は、経済、文化、化学、教育等の各方面における交流と協力を更に一層頻繁にしていくべきであり、両国の地方政府の間の友好協力関係もまた、絶えず新しい発展を続けていくべきだと思いません。

中日両国人民の友誼が、富士山のように永遠に巍然と屹立し、揚子江のように休むことなく奔騰していくよう祈願いたします。

中国省市責任者訪日代表団

団長 万 里

1978 年 11 月 13 日